

**2017年1月期8月度 月次業績動向(2016年7月21日～2016年8月20日)**
**会社名 ピープル株式会社**

(http://www.people-kk.co.jp/)

代表者名 取締役兼代表執行役 桐渕千鶴子

上場取引所: 東証JASDAQ

コード: 7865

TEL: 03-3862-2768

問合せ先: IR担当 飛田留美子

科目	《月次の対比》			《期初からの累積の対比》			《過去12ヶ月累積の対比》		
	2016年1月期 8月度	2017年1月期 8月度	前年 同月比	15/1/21～ 15/8/20	16/1/21～ 16/8/20	前年 同期間比	14/8/21～ 15/8/20	15/8/21～ 16/8/20	前年 同期間比
売上高	301,127	300,326	99.7%	2,283,989	2,517,757	110.2%	4,084,263	4,894,546	119.8%
営業利益	20,761	20,639	99.4%	263,001	245,570	93.4%	502,130	593,273	118.2%
経常利益	25,926	20,820	80.3%	270,640	228,890	84.6%	516,807	569,209	110.1%
税引前利益	25,926	20,820	80.3%	271,072	228,874	84.4%	517,238	569,147	110.0%
流動資産	2,126,134	1,957,907	92.1%						
固定資産	204,660	255,463	124.8%						
流動負債	348,750	254,275	72.9%						
固定負債	50,000	50,000	100.0%						
純資産	1,932,044	1,909,096	98.8%						
総資産	2,330,794	2,213,370	95.0%						

**【2017年1月期 第3四半期累計期間  
(2016/1/21～2016/10/20)業績予想】**

(2016年9月1日発表)

- ・売上高: 34億21百万円(前年同期間比8.5%増)
- ・営業利益: 3億86百万円( " 4.5%減)
- ・経常利益: 3億69百万円( " 9.2%減)
- ・四半期純利益: 2億45百万円( " 5.7%減)

**商品別売上高**

商品カテゴリー名	2016年1月期 8月度	2017年1月期 8月度	当月 構成比	15/1/21～ 15/8/20	16/1/21～ 16/8/20	当期間 構成比	14/8/21～ 15/8/20	15/8/21～ 16/8/20	当期間 構成比
乳児・知育玩具	102,442	121,380	40.4%	721,708	669,460	26.6%	1,377,702	1,405,294	28.7%
女兒玩具	76,193	46,632	15.5%	431,542	395,466	15.7%	842,543	961,162	19.6%
遊具・乗り物	41,990	26,311	8.8%	464,316	510,271	20.3%	726,299	897,407	18.3%
海外販売、その他	80,502	106,003	35.3%	666,423	942,560	37.5%	1,137,719	1,630,683	33.3%
合計	301,127	300,326	100.0%	2,283,989	2,517,757	100.0%	4,084,263	4,894,546	100.0%

**8月度新発売商品**

商品カテゴリー名	商品名	標準小売価格(税別)
乳児・知育玩具	「ピタゴラスキューブ これな～んだ?」	¥4,600
	「ピタゴラスキューブ すごいのできた!」	¥9,800

前月7月度で顕在化した玩具市場の販売鈍化傾向は当8月度の夏季商戦でも続き、国内販売は依然厳しく下振れ要因となり、海外販売を含む当8月度の総売上高は3億円、前年同月比3%減となりました。

玩具部門では基礎玩具全般低迷と聞く中、当8月度によく乳児・知育カテゴリーで市場在庫消化と共にリピート注文が戻り前年実績を上回りましたが、仕入を絞りすぎた店舗によってはお盆商戦に間に合わず、商戦中に店頭欠品も出た様子さえも見られました。また、「やりたい放題BIG版」は前年を大幅に超えて受注が集中し、流通にとって手堅く売上に直結するロングセラー品を消費刺激の目玉商材とする等、当期特有の動きが目立っています。ピタゴラスのキューブタイプでは、「ピタゴラスキューブ これな～んだ(税抜¥4,600)」「ピタゴラスキューブ すごいのできた(税抜¥9,800)」の2品をリニューアル新製品として発売し、コスト上昇対策を粛々と進行しており、今秋に向けCMキャンペーンを開始する予定です。

女兒玩具では、お人形の大道具に値上げによる回転鈍化が見られる他、前年同月にあった新製品発売が当期は翌9月度に計画されている事等が重なり、当8月度の玩具部門の売上に影響しています。

遊具乗り物カテゴリーにおいても、自転車販売店で大人車含め低迷が見られ、消費刺激策としての各社PB商品の訴求強化が、当社の幼児車のセルアウトにも若干影響しています。